

《Lesson 5》新しい助動詞 疑問詞＋疑問文

最後は could / must といった助動詞に、who / how といった疑問詞を足す方法についてです。こちらも「疑問詞 + can の疑問文」や「疑問詞 + will の疑問文」同様、基本的な形は「疑問詞 + 助動詞の疑問文」の形となります。

【疑問詞 + 助動詞の疑問文：基本の形】

疑問詞 + 助動詞 + 主語 + 一般動詞の原形 ~?

(have to の場合は、「疑問詞 + do/does/did + 主語 + have to ~?」の形となる)

- <例> **Where** should we go? (私たちは、どこに行くべきなのですか)
How much food could he eat? (どれくらいの量の食べ物を彼は食べられたのですか)
How often do you have to do this? (どれくらい頻繁にこれをしないとイケないのですか)

【疑問詞 + 助動詞の疑問文：作り方】

- ステップ1： 疑問詞の部分（何、いつ、など）に同じ種類の **適当な単語** を入れて**疑問文**を作る。
ステップ2： 入れた **適当な単語** を **疑問詞** に戻す。
ステップ3： 疑問詞 を **文の先頭** に持ってくる。

<例1> 「私たちは、どこに行くべきなのですか」という文の場合。

ステップ1： 疑問詞 の部分（どこ）に 同じ種類の **適当な単語** を入れて**疑問文**を作る。

「私たちは、**そこ**に行くべきなのですか」

Should we go there?

ステップ2： 入れた **適当な単語** を **疑問詞** に戻す。

Should we go where?

ステップ3： 疑問詞 を **文の先頭** に持ってくる。

Where should we go?

<例1> 「どれくらいの量の食べ物を彼は食べられたのですか」という文の場合。

ステップ1： 疑問詞 の部分（どれくらいの量の）に 同じ種類の **適当な単語** を入れて**疑問文**を作る。

「**たくさん**の**食べ物**を彼は食べられたのですか」

Could he eat a lot of food?

ステップ2： 入れた **適当な単語** を **疑問詞** に戻す。

Could he eat how much food?

ステップ3：疑問詞 を文の先頭に持ってくる。

How much food could he eat?

そして、「誰が～?」「何が～?」といった、主語をたずねる疑問文の場合には、疑問詞を主語とした肯定文の形になります。

【主語をたずねる助動詞を使った疑問文：基本の形】
疑問詞 + 助動詞 + 一般動詞の原形 + ～?

<例> Who should carry this? – You should. (誰がこれを運ぶべきですかーあなたです)
How many people could do this? (何人の人がこれをできたのですか)

【主語をたずねる助動詞を使った疑問文：作り方】

ステップ1：疑問詞の部分（何、誰）に同じ種類の 適切な単語（3人称・単数）を入れて肯定文を作る。

ステップ2：入れた 適切な単語 を 疑問詞 に戻し、最後を ? にする。

<例> 「誰が、これを運ぶべきですか」という文の場合。

ステップ①：疑問詞の部分（誰）に 同じ種類の 適切な単語（3人称・単数）を入れて肯定文を作る。

「あなたが、これを運ぶべきです」

You should carry this.

ステップ②：入れた 適切な単語 を 疑問詞 に戻し、文の最後を ? にする。

Who should carry this?

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。